

## 天文現象など

- 6/1 月と土星が並ぶ (明け方・東の空)
- 6/3 月と火星が並ぶ (明け方・東の空)
- 6/6 新月 ☾
- 6/9 月とポルックスが並ぶ
- 6/12 月とレグルスが並ぶ
- 6/14 上弦 ☽
- 6/16 月とスピカが並ぶ
- 6/20 月とアンタレスが並ぶ  
アンタレス食  
(18 時 47 分～18 時 58 分・南東の空)
- 6/21 夏至
- 6/22 満月 ●
- 6/28 月と土星が並ぶ  
(午前 0 時～明け方・東～南の空)
- 6/29 下弦 ☾

## 星空ワンポイント

北斗七星から連なる春の大曲線上に輝くふたつの一等星には、「<sup>めおと</sup>春の夫婦星」の名が伝わっています。昔の人は、うしかい座のアルクトゥルスを「男星さん」、おとめ座のスピカを「女星さん」と考えました。さて、現代のみなさんはどんなふうを感じるでしょう。



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下

星図は空にかざして使います。東の空を眺めるときは、星図の東が下になるように持ってかざします。



撮影：長島 健二 (多摩六都科学館ボランティア会所属)

## 今月の一枚

### 皆既日食とダイヤモンドリング

今月の一枚は、今年の 4 月に北アメリカで観測された皆既日食中の「ダイヤモンドリング」の瞬間です。ダイヤモンドリングとは、太陽が月に完全に隠される寸前の現象で、ほんのわずかに残る強い光が作る輝きがダイヤモンドの指輪のようだということからこのように名付けられました。

現地で観測に挑んだ科学館ボランティア会の有志からは、「日食が始まる前は良く晴れていたのに、太陽が隠れるにつれて徐々に気温が下がり、雲が出始めたのには冷や冷やしました。」との感想も。

次回、日本(東京)で皆既日食を見ることが出来るのは 2035 年 9 月 2 日。まだまだ先ですが、この目で見られる日を楽しみに待ちたいですね。

## 2024.6 ...休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15 観望会
16	17	18	19 おもいやり	20	21	22
23 30	24	25	26 大人向け	27	28	29

各日のイベント・投影の内容や参加方法については 当館 web サイトまたはロクトニュースにてご確認ください



### 全編生解説プラネタリウム 音で知る宇宙

宇宙といえば無音の空間だというイメージが強いかもしれませんが、宇宙は激しく活動する太陽や、巨大なブラックホールから吹き出すジェットなど、ダイナミックな変化を続ける天体たちが響かせる様々な音 (= 振動) に満ちています。一体どんな音なのでしょう。ドームに響き渡る宇宙の「音」をぜひご体感ください。

投影期間 7月19日(金)まで

ブラックホールの高音ジェット  
NASA/CXC/SAO/IK.Arcand, SYSTEM Sounds (M. Russo, A. Santaguida)

